



HAGIWARA グループ



●定置式水平ジブクレーンによる打設状況



北海道横断自動車道 陸別町 川向改良工事



●着工前状況



●施工状況(8月4日時点)



●吊上げ状況



●路体盛土・地盤改良状況

- 工事名 : 北海道横断自動車道 陸別町 川向改良工事
- 発注者 : 北海道開発局 帯広開発建設部
- 施工業者 : 萩原建設工業株式会社

- 施工場所 : 陸別町
- 進捗率 : 27.0%(7月末日時点)
- 施工期間 : 令和4年4月12日～令和5年1月13日

土木

当工事は、北海道横断自動車道の道路切盛土およびボックスカルバートを施工するものです。ボックスカルバートの施工には、ドイツLIEBHERR社の定置式水平ジブクレーン42K.1/Jを用いた施工を行う試行現場にもなっております。従来のボックスカルバートの施工においては、ラフテレーンクレーンのような移動式クレーンが採用されてきました。その中で、工程や予算などの関係から“クレーンは短期間でどんどん使ってすぐ返す”といった現状があります。定置式水平ジブクレーンは一度設置すれば施工終了まで常に使える状態となります。すると、一度に大量の物を揚重していたクレーン作業が、好きな時に好きな量を好きな場所に運ぶことができます。また、このクレーンに運転席は存在せず、職人達の手元のリモコンによる運転により動作します。実際の吊荷と共に動ける事で死角を無くし、生産性を向上します。

重い荷物を肩に担いで運ぶ日本の建設業における3K(キツイ、きたない、危険)のイメージは根強いものがあります。そういった過負荷作業を軽減する目的でもあるクレーンで建設業のイメージアップを図りたいです。 現場代理人:早川 剛史/監理技術者:奥村 祐介/担当技術者:新津 七海・坂本 宇碩



●建物外観(北側)

株式会社マテック本社改築工事



●建物外観(東側)



●ホール



●受付



●社長室

- 工事名 : 株式会社マテック本社改築工事
- 発注者 : 株式会社マテック 代表取締役社長 杉山 博康
- 設計・監理・施工 : 萩原建設工業株式会社

- 施工場所 : 帯広市西21条北1丁目8-3他
- 進捗率 : 引渡し済
- 施工期間 : 令和3年10月1日～令和4年6月30日

マテックグループとして、資源リサイクルと、あらゆる資源の再生・創造・開発をとおして積極的な資源の創造(マテリアル・クリエーション)にチャレンジされているマテック様本社の改築工事を担当させていただきました。

本工事は営業中敷地内での増築工事でしたが施主様に多大なるご配慮をいただき、スムーズに工事を進めることができました。建物の特徴としては、地下100mまで掘削しパイプ挿入した後、不凍液循環させて地中熱エネルギーを冷暖房、建物周囲のロードヒーティングに利用し、太陽光パネルによる電気エネルギーを施設内の電力に利用し、環境に配慮した自然エネルギー設備を採用すると共に、断熱性能向上や省エネに向けた様々な仕様を採用しております。

また、設計・施工の本計画では設計担当者との協議、各種調整などコミュニケーションもとりやすく工事を円滑に進めることができました。施主様には品質も含め大変喜んでいただき、現場職員一同大変やりがいのあった心に残る現場となりました。 現場代理人:柳沢 和茂 / 現場担当者:不破 悠



建築



令和4年7月21日、「音更町農村環境改善センター玄関タイル修繕工事」において、音更町教育委員会のご協力のもと、音更町立西中音更へき地保育所の園児5名を対象に工事作業体験会を開催しました。

冒頭、音更町教育委員会 教育部 生涯学習課長 宮田 明子 様より御挨拶いただき、当社職員による作業説明およびデモンストレーションを行った後、園児らが一齐に作業を開始しました。今回は、当工事の修繕箇所である施設玄関前タイルの一角に、ビー玉や十勝石を埋め込む装飾作業を体験していただきました。

この体験会が園児らにとって、世の中の“シゴト”を知るきっかけとなり、建設というモノづくりの楽しさを実感する時間となつてほしいとの思いと、住民に愛される施設を目指して音更町教育委員会と当社が共同で企画、開催したイベントです。

体験会終了後、園児らより「楽しかったです!ありがとうございました」と御礼の言葉を頂けたことが何よりも嬉しく感じました。さらに、保護者の方々より「子供たちが楽しめるイベントに参加できて嬉しく思う。感謝しています」という声が届いたそうです。また、イベントに参加した園児とその保護者が施設を訪れ、自らが手掛けた装飾箇所を見せながら自慢する場面もあったようです。みなさんも施設を訪れた際は、園児らの作品をご覧ください。

📷 今月の表紙

撮影: 萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

今月の表紙は、アメリカ西部開拓時代アウトロー系ガンマンだった私の愛馬のではありません。弊社のある帯広市のとなり町音更町にある家畜改良センター十勝牧場の写真でした。4,100haというひくほどの敷地面積を有し、弊社創立より6年前の1910年創設の歴史を持つ牧場です。展望台からは広大な放牧地に自由に移動する馬たちの姿を楽しめます。天高く馬肥ゆる秋のドライブにいかがでしょう。



M P マテックプロダクツストア

URL <https://matec-products.jp>

〒080-2472 帯広市西22条南3丁目34-1
Tel / 0155-35-7711 Fax / 0155-35-9911
営業時間 / 10:00 - 19:00 休業日 / 祝日

